

山口情報芸術センター [YCAM] 研究開発事業

ゲストリサーチプロジェクト
Guest Research Project vol.3

開発者：レザ・アリ

招聘期間：2015年12月—2016年2月

メディアを活用した創作コミュニティを刺激する Guest Research Project 第3弾が始動！

山口情報芸術センター[YCAM]では、メディア・アートに関する先進的なテーマをもつエンジニアや研究者などを招聘し、YCAM内の研究開発チーム「YCAM InterLab」と共同研究開発に取り組む「Guest Research Project (ゲスト・リサーチ・プロジェクト)」を実施しています。

3度目となる本年度は、サンフランシスコを拠点に活動するコンピューショナル・デザイナーでエンジニアのレザ・アリを招聘し、3Dプリンタで印刷が可能な3Dデータを生成するための、Web上で機能するデザインツール・インターフェースの研究開発と、そのためのソフトウェアライブラリの制作、及びオープンソース化をおこないます。

近年、オープンソース文化の拡大やファブリケーションマシンの普及に伴い、3D技術はとても身近なものになりました。今回、この3D技術とコンピューショナル・デザインで用いられる、数式やプログラミングを使用して、審美的に美しい3Dオブジェクトを生成する新しい方法を探求します。

本プロジェクトは、研究開発事業に取り組み、その成果を蓄積することで、制作機能の更なる充実と活性化を図るとともに、開発内容をオープンソースで公開し、国際的な技術者間の交流や、最新技術と新たな表現に関するプラットフォームの創造を目指します。

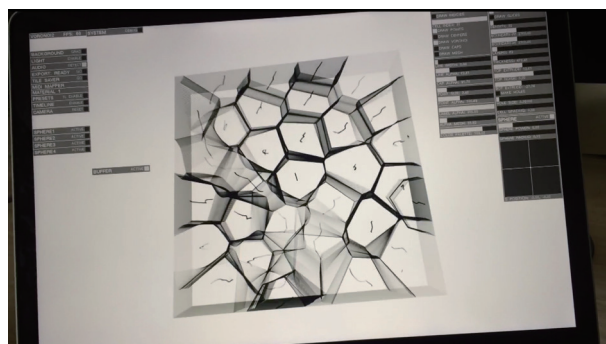
この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM]

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



上：開発中のインターフェイス
下：「Paper Galaxy」ワークショップの様子（2014年）

プロフィール



Reza Ali | レザ・アリ

幾何学やプログラムコードを用いて作品を制作するコンピュータショナル・デザイナー/エンジニア。現在はサンフランシスコを拠点として活動中。作品は、映像などの視覚芸術、3Dプリンタを用いた新しい彫刻、インタラクティブなインストールやWEBサイトなど多岐に渡る作品制作をおこなう。作品のために制作した新しい技術をオープンソースすることにも高い興味を持ち、openFrameworksなどのクリエイティブなソフトウェアコミュニティでも活躍している。

事業概要

Guest Research Project vol.3

開発者：レザ・アリ

招聘期間：2015年12月—2016年2月

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団
後援：山口市教育委員会
助成：平成27年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業
共同開発：YCAM InterLab
企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

関連展示

Introduction of Reza Ali—レザ・アリ紹介展示

2015年12月19日(土)—2016年2月21日(日) 10:00—20:00
火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始休館 鑑賞無料
山口情報芸術センター [YCAM] ギャラリー1 (図書館側エレベーター前)

レザ・アリがこれまで手がけた作品の紹介動画や、今回のGuest Research Projectへの意気込みを語ったインタビュー映像などを展示します。

ワークショップ申込方法

LET'S MAKE THINGS WORKSHOP

滞在期間中に制作する「3Dデータをデザインするためのアプリ」を実際に使用しながら、レザ・アリによる新しい「ものづくり」の方法を体験するワークショップを実施します。

日時：2月11日(木・祝) 14:00—16:00

料金：無料(要申込・先着順)

場所：YCAMワークスペース前

対象：高校生以上/一般

定員：15名

開催日、参加を希望するイベント名、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、電話番号等連絡先をお書き添えの上、開催日前日までにメール(reserve@ycam.jp)もしくはYCAMチケットインフォメーションでお申し込みください。